

人間学研究 Vol. 11

巻頭の言葉 秋 田 巖

論 文

ジョージ・オーウェルの作品と彼を描く伝記と

—Down and Out in Paris and London を中心として— 中 窪 靖 (1)

カナダ・ケベック州のクラスアクション

—クラスアクション成立認可基準を巡る動向の推移— 樫 博 行 (17)

ニュータウンにおける障害をもつ子どもと母親たちのコミュニティ形成

～就学前から就学期のソーシャルワークの課題～ 吉 村 夕 里 (29)

「裏庭モスク」から「統合・文化・教育センター」へ

—ドイツの都市におけるイスラーム団体 VIKZ の黎明期と現在— 石 川 真 作 (55)

研究ノート

河合隼雄と鶴見和子

—1992年から1994年の関わり— 高 石 浩 一 (71)

研究会・公開講演会報告

第4回河合隼雄追悼記念シンポジウム

「河合隼雄・鶴見和子と京都文教—その宗教性をめぐって—」 (97)

シンポジスト：ロバート・ボスナック・濱田 華子・樋口 和彦
岡田 康伸・名取 琢自・高石 浩一

「日・中・英の諺による異文化の比較研究」主催 公開講演会

「ことわざ研究の諸問題」 秋 本 守 英 (109)

京都文教大学人間学研究所・臨床心理学部共催 公開講座 シリーズ日本の心理療法研究

第3回「遍路にみる日本の精神性

—日本の心理療法への可能性に向けて—」 北村 香織・秋田 巖 (123)

プロジェクト研究報告

日・中・英の諺による異文化の比較研究 陸 君・永野 貴子 (137)

福祉に生かす代替療法—音楽・気功・チベット医学 馬場 雄司・濱野 清志 (139)

リバイビング・ニュータウン

—住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究— 小林 大祐・杉本 星子 (141)

人間学研究所事業報告 (2010年度) (143)

執筆規程

編集後記 手 嶋 英 貴